

2011年5月～

被災地でのボランティア活動を継続中

(いすゞ自動車首都圏株式会社)

いすゞ自動車首都圏（東京都江東区）では、東日本大震災発生後の2011年5月から現在まで、宮城県各地へほぼ毎週4名ずつ交代で、ボランティアを派遣しています。

これまで、累計237名の従業員が参加し、活動日数は延べ827日となりました(2015年3月末時点)。



活動地域・活動内容

当初は岩沼市で汚泥やがれき処理を行いました。その後、気仙沼市、南三陸町へと活動場所を移しました。現地ボランティアセンターを通じて、人手不足に悩む漁業や農業の支援など、被災地のニーズに応える活動を行っています。



従業員の人的育成にも繋がっています

このボランティア活動を通じた貴重な経験が従業員の「人的育成」にも繋がり、意義のある活動となっています。



今後の取り組み

今後も幅広く従業員に参加を呼び掛け、被災地の復興を支える活動として継続していきます。

なお、この活動を評価いただき、2012年には宮城県知事と宮城県社会福祉協議会より表彰を受けました。